

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	教育委員会事務局	
	17055	地域人材キラリ育成事業		課名	生涯学習課 社会教育G	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:学びによる生きがいの創出			款	10:教育費
	施策の方向	01:地域へ生かせる学びの展開			項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	04:「ジモトココロ」プロジェクト		目		03:公民館費	
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度		主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	市民
	目的	地域での学びを深めて、地域で活躍できる人材を確保していくため、中央公民館講座・行政講座・市民大学キラリをフィールドに、人材育成のための学びを一体的に推進する。
概要	中央公民館講座として、個々を高める学びを踏まえて、地域の魅力や課題を共有する学びを進めていくことで、学びの成果を地域社会に生かし、誰もが活躍できる社会の具現化に向けた起点を創出する。また、市民大学キラリを生涯学習の体系に一元化していくことで、中央公民館や行政講座を起点とした学びの体系の頂点に位置づけて、新図書館と一体的に地域課題に関して学びを深めるとともに、地域参画へのカリキュラムを構築し、年次的に人材育成を進める。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等も含め実施) ○市民大学キラリ展開事業 ・市民大学における学びの庁内調整 ・推進委員会の設置	○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地域おこし関連講座・地元の魅力・課題・歴史講座も実施) ○市民大学キラリ展開事業 ・市民大学の基本方針の策定 ・市民大学カリキュラム策定 ・市民大学プレ講座の実施	○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地域おこし関連講座・地元の魅力・課題・歴史講座も実施) ○市民大学キラリ展開事業 ・市民大学講座の開催 ・推進委員会による評価	
	年度実績	○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 72講座、1,049人 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等も含め実施) 286講座、4,835人	○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 73講座、956人 ・出前講座の開催 314講座、4,281人 ○市民大学キラリ展開事業 ・基本方針及びカリキュラムの策定 ・プレ講座の実施		
事業の計画・実績	計画額	事業費	14,300千円	14,900千円	15,500千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	820千円	820千円	820千円
	一般財源	13,480千円	14,080千円	14,680千円	
	予算額	事業費	13,990千円	14,794千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	820千円	820千円	
	一般財源	13,170千円	13,974千円	0千円	
	決算額	事業費 ①	13,423千円	13,971千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	805千円	835千円	
一般財源	12,618千円	13,136千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	1,152千円	1,167千円		
	一般職員	1,152千円	1,167千円		
	所要人員	0.15	0.15		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		14,575千円	15,138千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	高等学校と連携した中央公民館講座の開講数	計画値	3	4	5
		活動	中央公民館による高等学校と連携した地域の学びの講座(中央・出前)の開講数	実績値	3	4	
				単位	講座	講座	講座
	②	名称	歴史文化をテーマとした中央公民館講座の開講数	計画値	3	4	5
		活動	中央公民館による地域の歴史文化をテーマとした学びの講座(中央・出前)の開講数	実績値	4	6	
				単位	講座	講座	講座
	③	名称	市民大学の基本方針・カリキュラムの策定状況	計画値		策定	
		活動	市民大学を展開するための基本方針及びカリキュラムの策定状況	実績値		策定	
				単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 市民大学と公民館講座を一体化させた学びの仕組みづくりのためには、何を学びどのような人材を育成するのかについての全庁的な合意が必要である。学びのしくみづくりを進めるための庁内合意に向けて、生涯学習計画に示しためざす姿と各部局の進めている様々な学びに対しての共有を図る必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 産業振興課、環境課と協議し、自然環境に関する講座を含めたカリキュラム策定を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 中央公民館活動推進事業として、「中央講座の開催」・「出前講座の開催」については当初の目標に即して実施できた。 市民大学キラリ展開事業として、地域人材キラリ育成事業推進委員会を立ち上げ、かめやま人キャンパス講座実施要領及び講座カリキュラムの策定を行うことができた。また、かめやま人キャンパスのプレ講座として基調講演及びワークショップを開催した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 中央公民館活動推進事業の実施により、多くの市民への「学習機会」を提供する場を設けることができた。また、かめやま人キャンパスプレ講座を開催することにより、地域人材育成の意義と令和元年度から開講する講座についてPRすることができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 かめやま人キャンパスの講座発信にあたり、中央公民館講座や、総合型地域スポーツクラブ、市及び県の出前トークなどの情報をまとめた「学びのガイドブック」を作成したが、市内で行われている多様な主体による学びの情報をさらに集約し、情報を一元化していく必要がある。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 学びの情報の一元化に向けて、生涯学習計画に示しためざす姿と各部局の進めている様々な学びに対しての共有を図りながら、学びの情報を収集する必要がある。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 学びの情報を一元化することで、より効果的に学びの成果を地域社会に生かすことができる。	
対応時期		「生涯学習計画」終期まで	

【1次評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループリーダー 小坂 博文
【最終評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課長 亀山 隆

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A			
	成果	B	B			